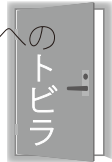


広告



保健推進課
氏家 峻

保健推進課
鈴木 啓之



石狩健康づくり応援団。

市民の健康づくりに積極的に参加してくれる市内の関係機関、民間企業、商業施設などを石狩市健康づくり応援団として認定し、市のホームページや広報いしかりでの公表、団員ステッカーの配布、表彰などを実施します。

今、そこにある危機 —石狩市の健康の姿—

- **死亡原因** (平成24年)の約6割が**生活習慣病**(がん34.8%、心疾患11.4%、脳血管疾患9.3%)
- **メタボリックシンドローム**に該当する人の割合15.6%、予備群11.8%
- 40、50歳代男性の**約50%が肥満**で、30歳代女性の**25%が痩せ過ぎ**
- **運動習慣**のある人の割合20歳～69歳で、男性24.2%、女性19.1%
- 成人男女の**喫煙率**21.9%、うち半数が**やめたいのにやめられない**
- **お酒の飲み過ぎ**は男性22.8%、女性12.9%
- **子どもの虫歯**の保有率は3歳児が24.0%、12歳児が58.1%で、全国・全道平均より虫歯が多い

石狩市健康づくり計画(第2次)

石狩市健康大作戦

～やりたくなる健康づくり、楽しい健康づくりへ～



▲石狩市健康づくり計画(第2次)

高 齢者の割合が世界一の24.1%(平成24年)となった日本で、誰もが「健康で長生きしたい」との願いを持ちながら、石狩市では全国と同様に、生活習慣の乱れや運動不足などによって、約6割の人が生活習慣病で命を落としていきます。また、人間関係や社会構造の変化によるストレスから、こころの病も増えています。

このような健康寿命の短縮につながる危機的状況を脱するため、市では、市民の健康を支える環境づくりを推進しようと、健康増進法に沿って策定した「健康いしかり21」の考え方に基づき、平成23年度から27年度まで「石狩市健康づくり計画(第1次)」を進めてきました。その結果、約6割の評価項目で目標値に近づくことができた反面、悪化している項目も約2割あるという現実も見えてきました。

そこで本計画では、最終評価から浮き彫りになった課題(市民がやりたくなるような取り組みとメッセージ性のある情報発信の必要性、お互いに健康を支え合う地域社会の重要性)の解決を目指し、国や北海道の健康づくり計画と足並みをそろえながら、平成28年度から35年度までの8年間で、市民の皆さんの健康づくりを後押ししていきます。

